

第45回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会②】

日時：2024年7月3日（水）

部会②・部会③10:15～12:00（予定）

場所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川高輪口

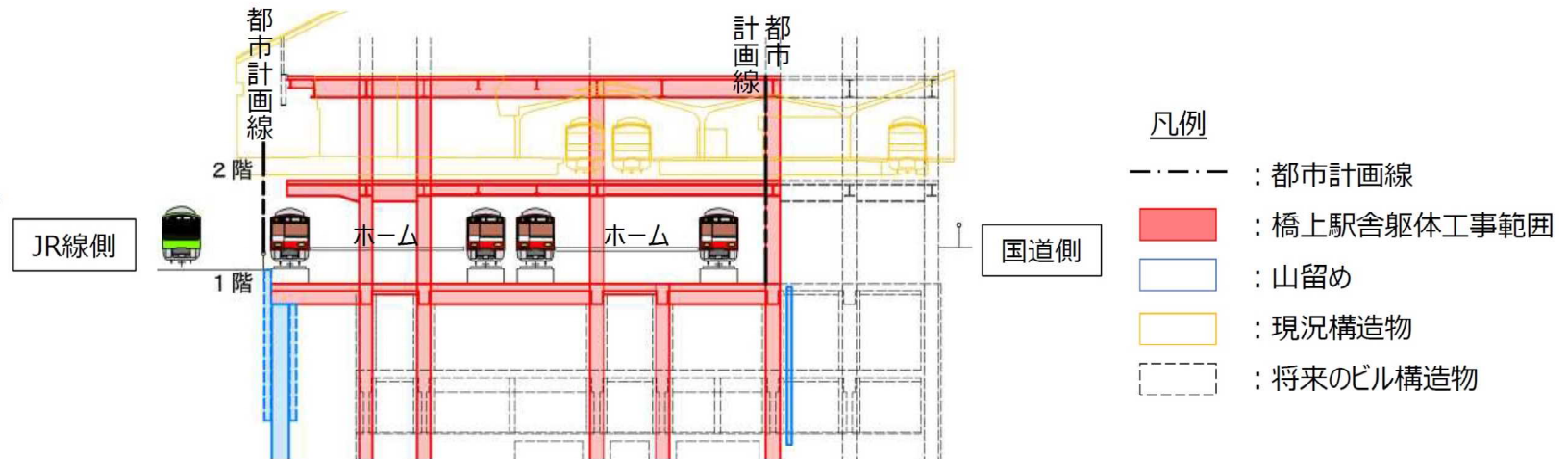
次 第

【部会②】

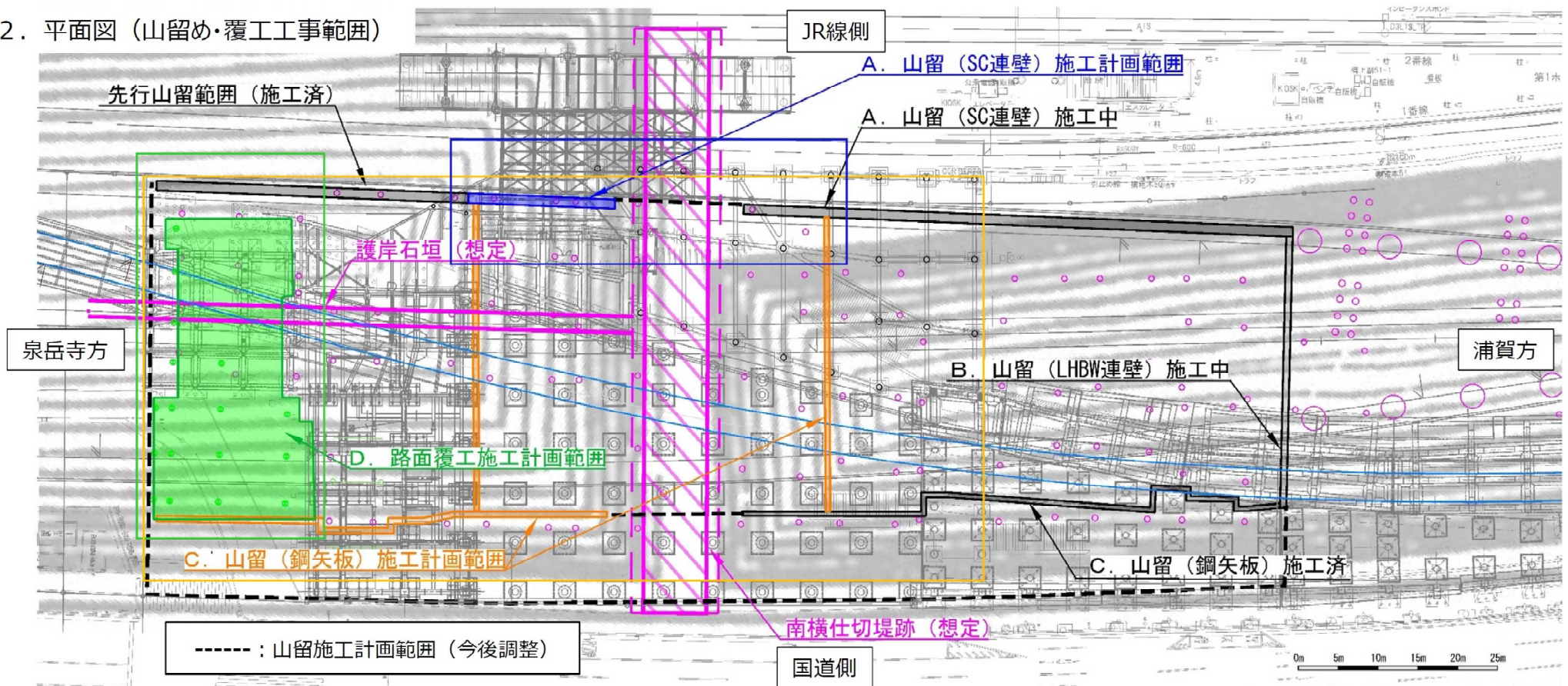
- （１） 開会
- （２） 橋上駅舎躯体工事における山留め部の工事について 【資料１】
- （３） 橋上駅舎躯体工事における駅歩行者動線部の覆工等工事について 【資料２】
- （４） 調査の進捗について 【資料３】
- （５） その他
- （６） 閉会

1. 橋上駅舎躯体工事概要

京急線連立事業と合わせ、
品川駅の駅舎躯体
(鉄道施設やコンコースが
収まるビル建物) を構築する。

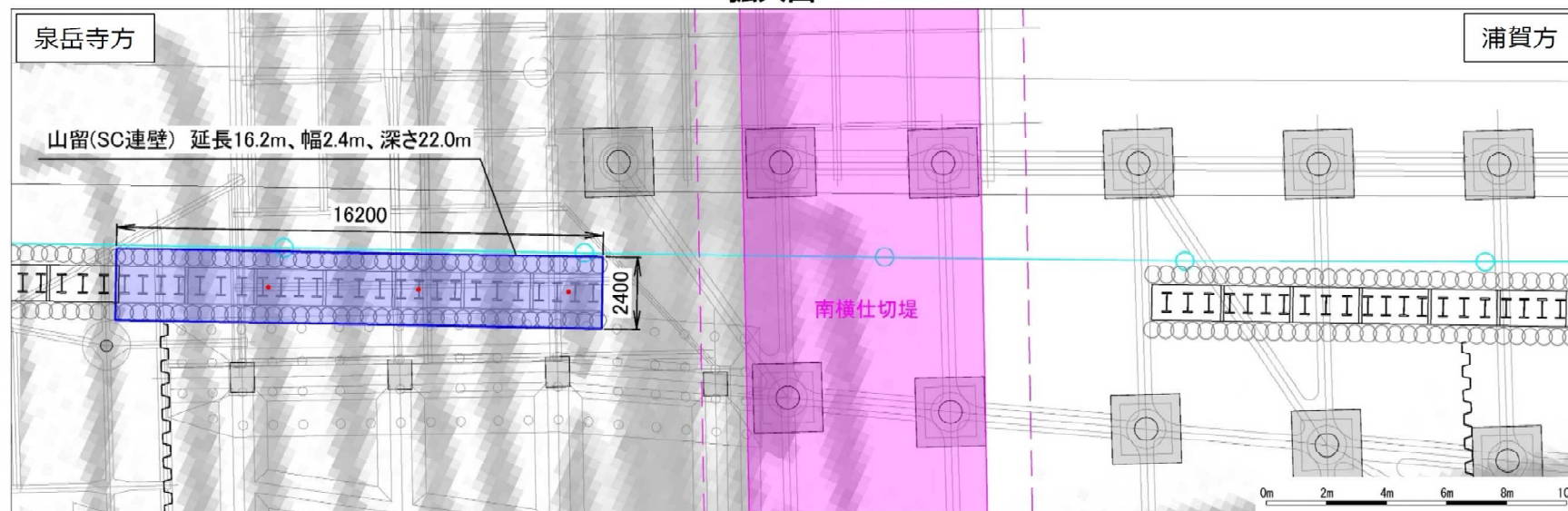


2. 平面図 (山留め・覆工工事範囲)



3. A.山留（SC連壁）施工概要

拡大図



【施工方法】

①溝壁防護

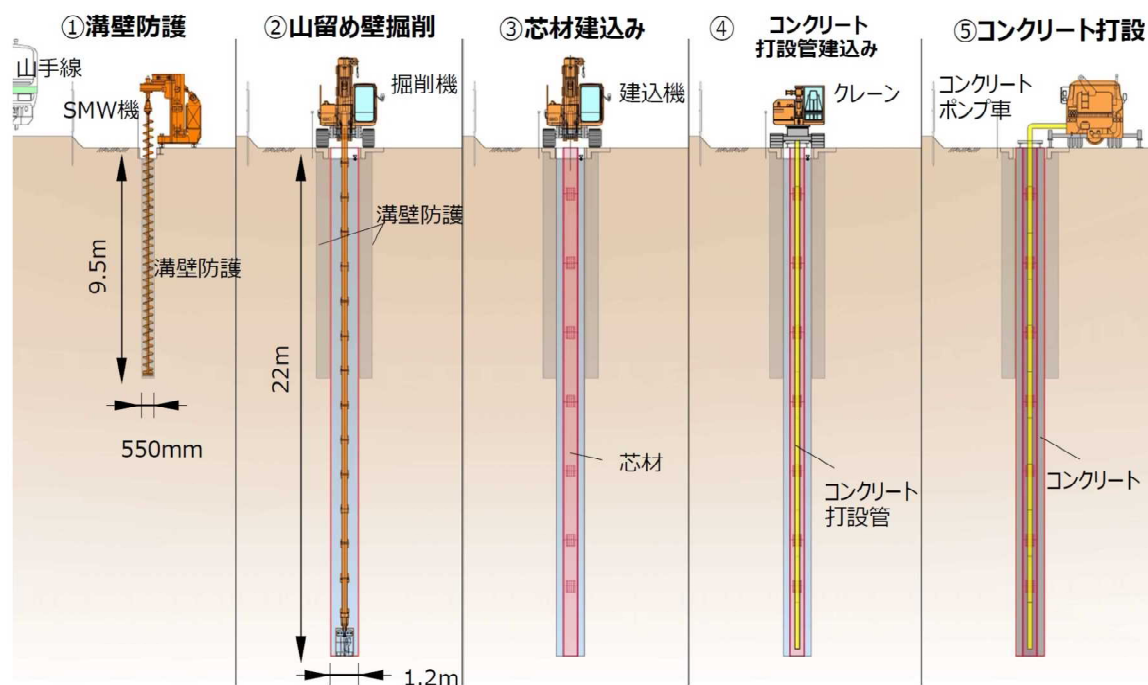
土とセメントを混合して溝壁防護を行う。
※溝壁防護：溝を掘削した際に地盤が崩れないように、事前に地盤を固めたもの。

②山留め壁掘削

掘削機を使用し、SC連壁は幅1.2mで掘削する。掘削した溝を安定液で満たし、周囲の土の崩壊を防止する。

③芯材建込み

芯材（H鋼）をつなぎながら建込む。



④コンクリート打設管建込み

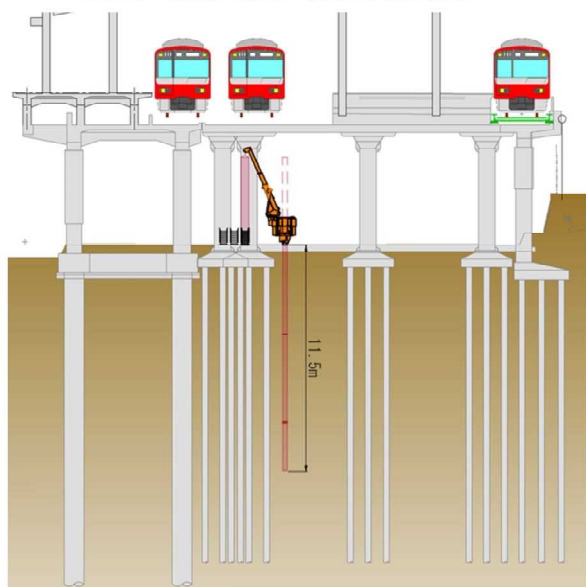
コンクリート打設用の管を芯材間に設置する。

⑤コンクリート打設

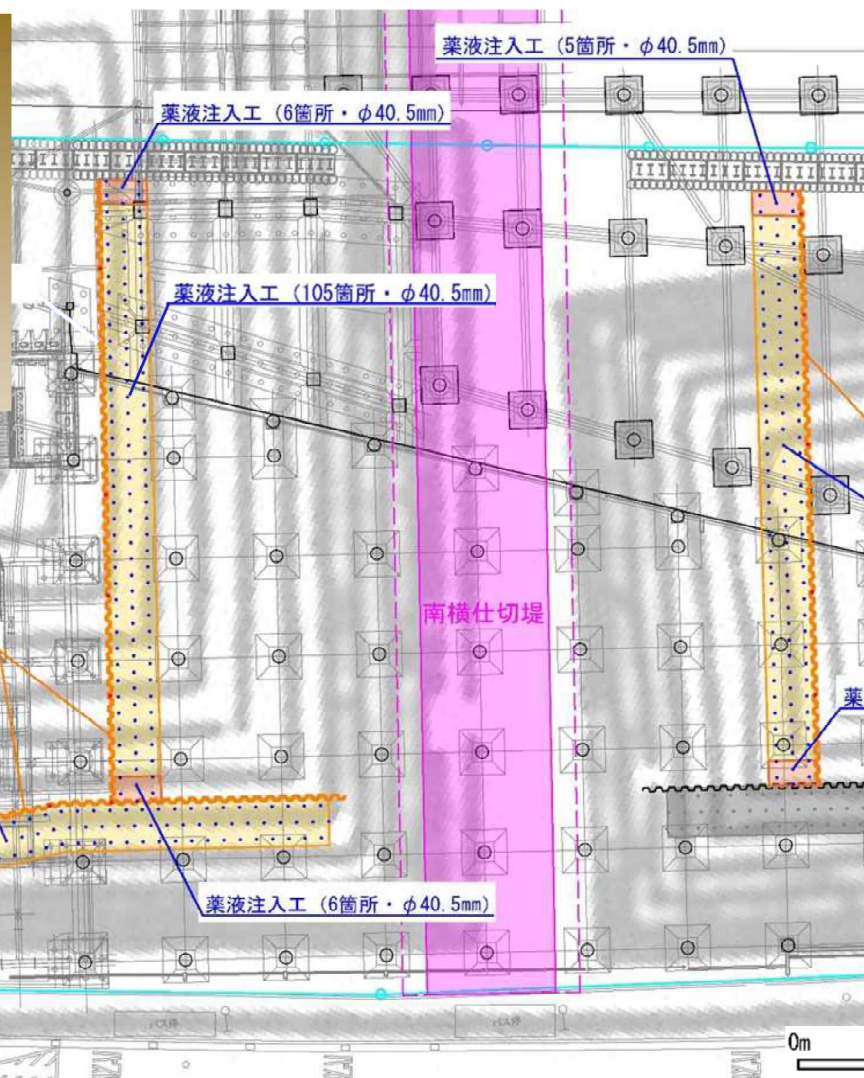
コンクリート打設管を通して、溝にコンクリート満たす。

4. C.山留（鋼矢板）・薬液注入工 施工概要

山留（鋼矢板）施工断面図

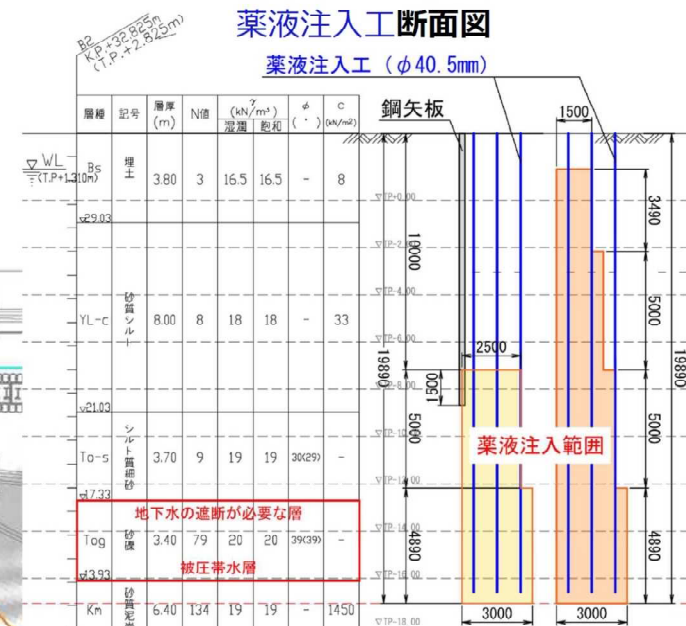


拡大図



薬液注入工断面図

薬液注入工 (φ40.5mm)

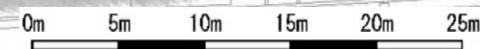


泉岳寺方

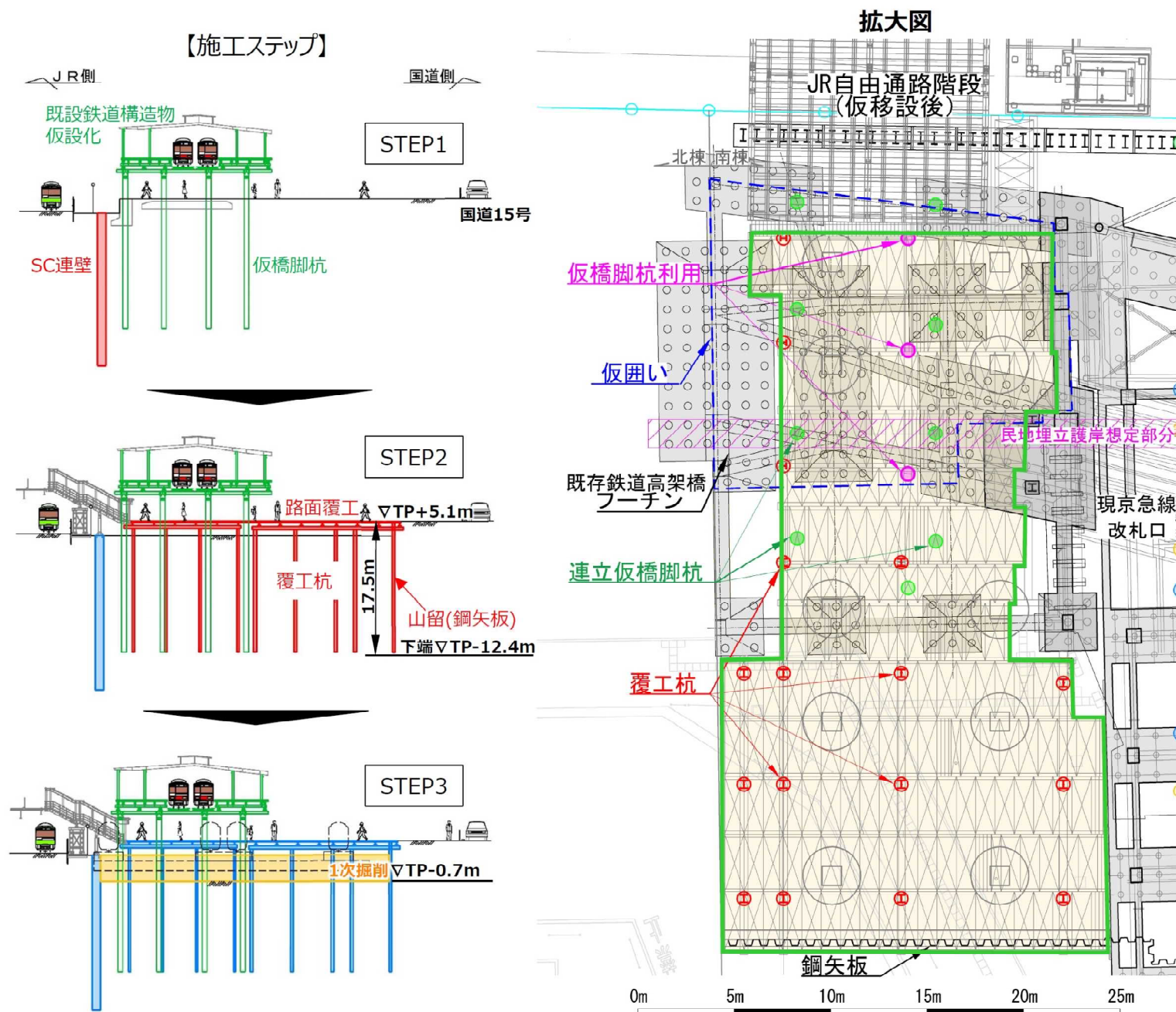
浦賀方

凡例

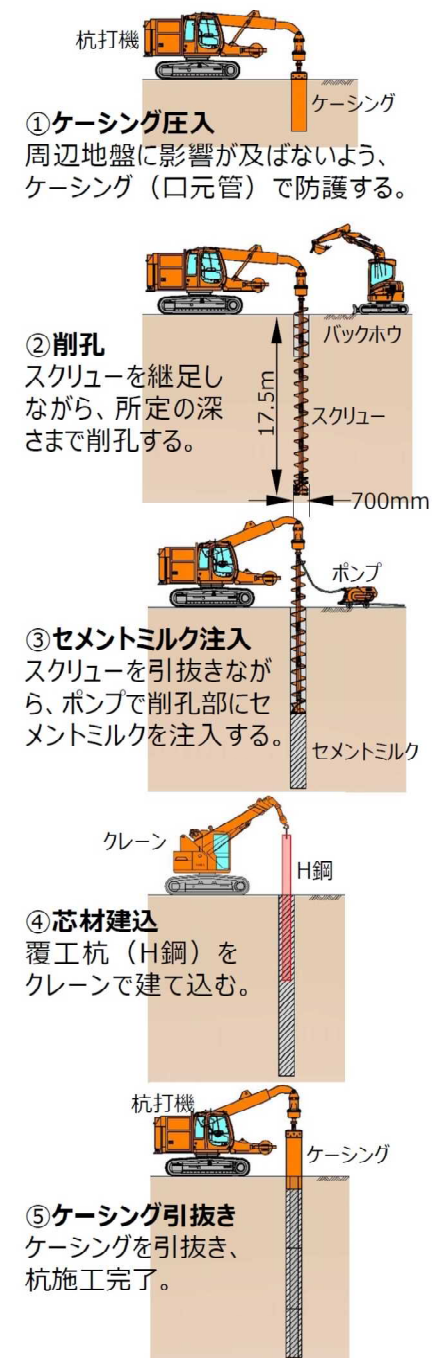
- : 薬液注入工 (TP-7.0~-17.0・377.7m²)
 : 薬液注入工 (TP+1.5~-17.0・22.5m²)



1. D.路面覆工（一次掘削）施工概要



【路面覆工杭の施工手順】



京急線連立 遺構への影響低減に向けた仮設計画の見直しについて

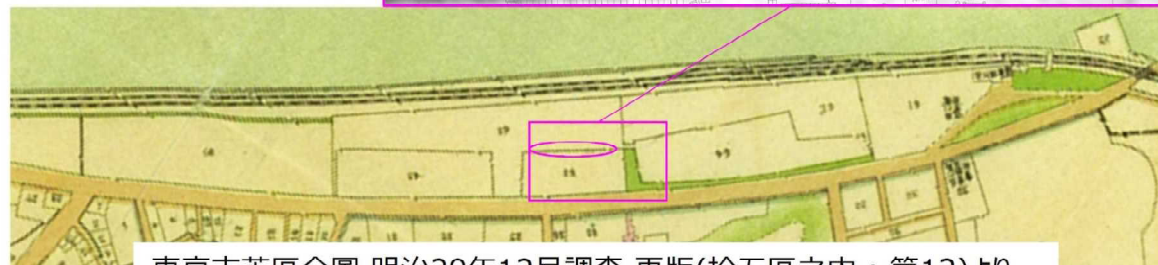
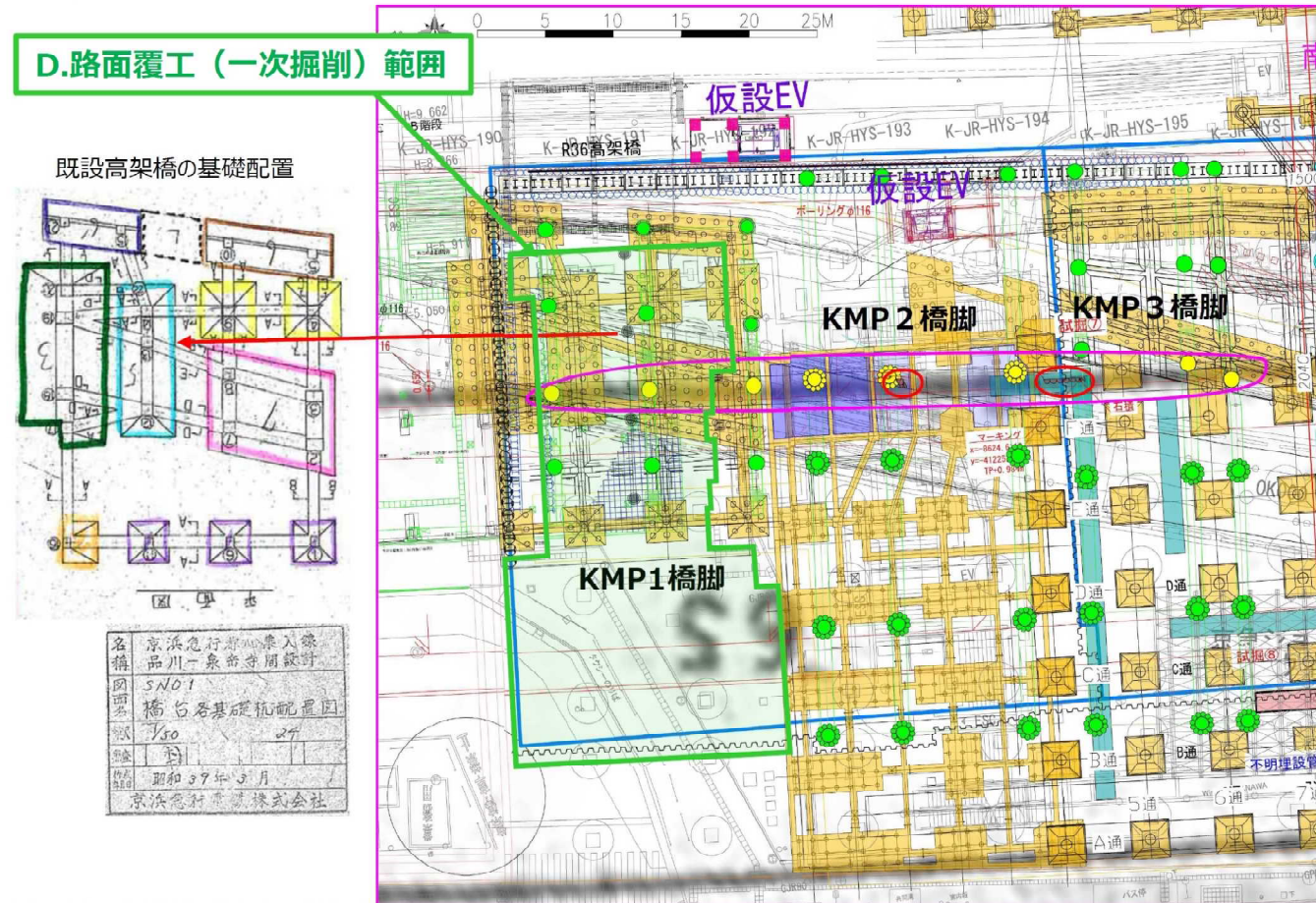
第37回部会②資料再掲

2023. 11. 1

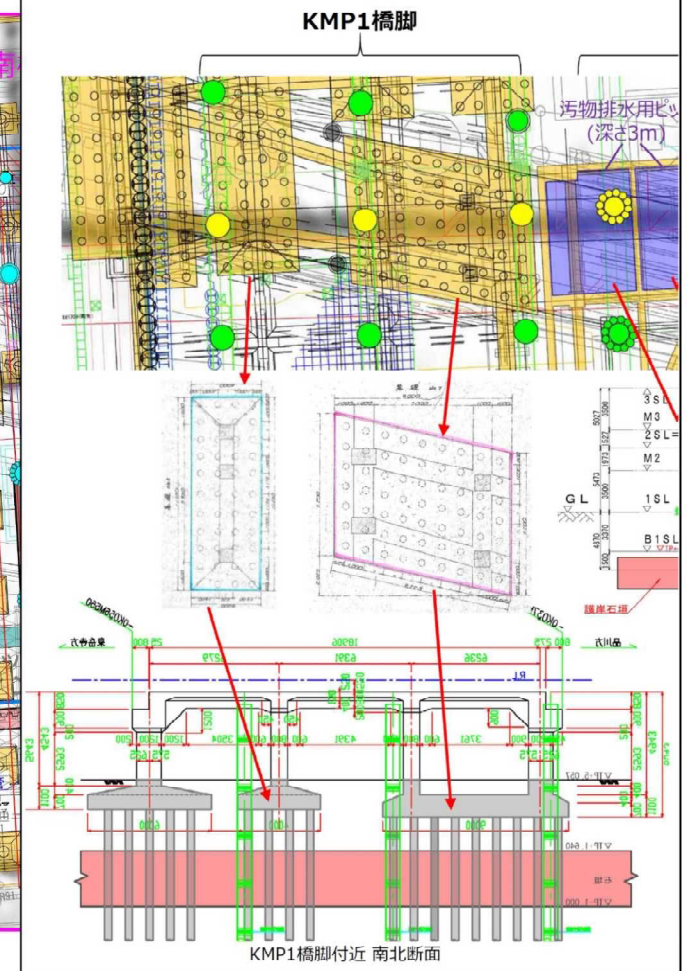
資料2

1

1. 南横仕切堤以北（自由通路まで）の仮橋脚杭計画の状況



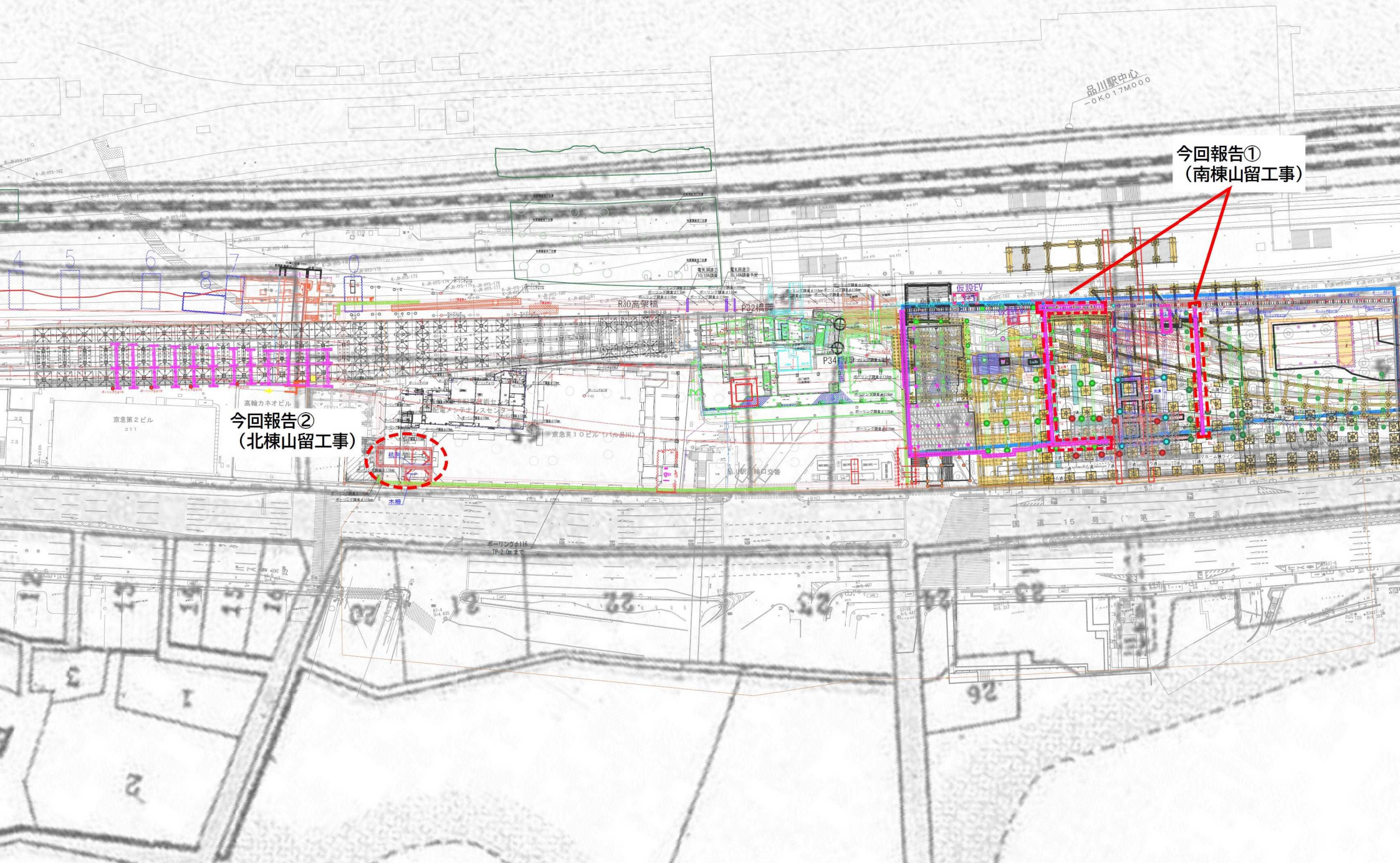
2. 遺構（民地石積）に支障する可能性がある橋脚の状況と対応方針



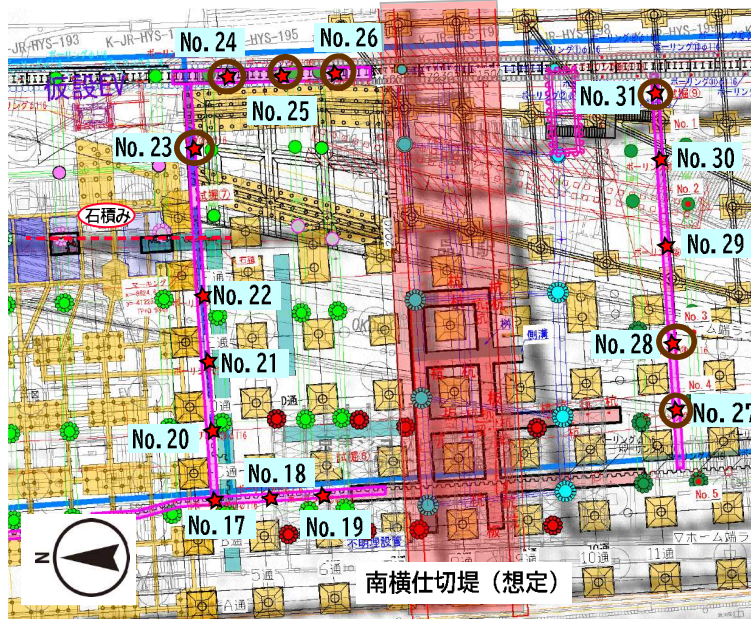
凡例

- 計画仮橋脚杭
- 民地埋立護岸に支障の可能性(本件箇所)
- 想定南横仕切堤を回避し打設許可
- 水溜内試掘結果により打設許可
- 既設高架橋の基礎
- 汚水溜ピット(深さ3m)

駅街区地区の試掘調査の進捗について（2024年6月30日現在） S=1/1000



報告① 南棟山留め工事にかかるボーリング調査

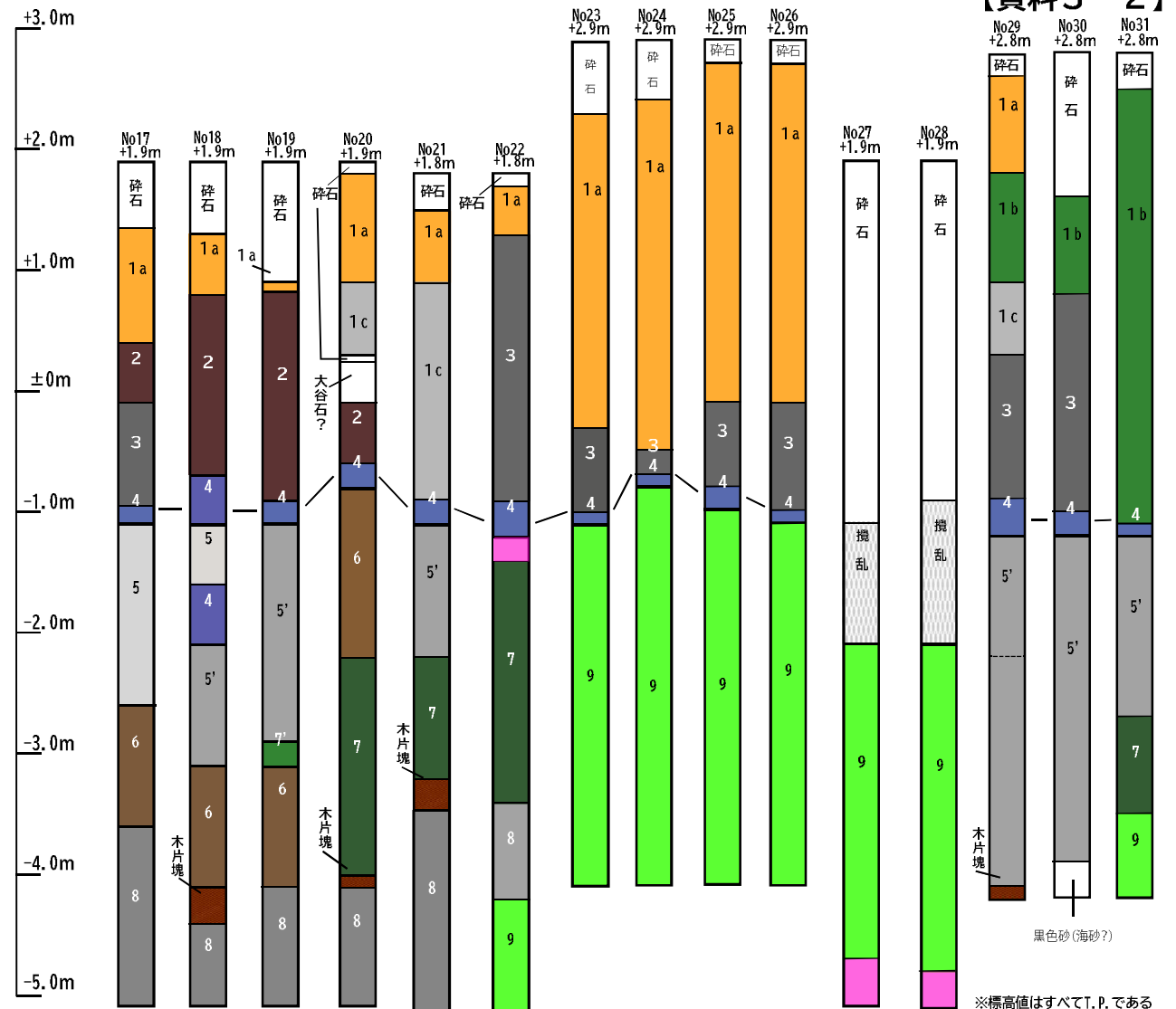


【調査方法】

- ・Φ110mmのコアサンプルをGL - 7.0mまで採取し、肉眼で観察を行った。
- ・ボーリング調査は2024年5月27日～29日、6月12・13・17日に実施し、コア観察は6月18日に行った。

【調査所見】

- ・4層（貝が混じる黒褐色シルト層）を境に、上層は埋立土、下層は自然堆積層である。
- ・自然堆積層上面の検出レベルは地点により差があるが、北東部（No23～26）では概ねTP-1.0m付近で確認されている。（1～4街区と似る）
- ・北西部の6本（No17～22）のうち、No17～21では硬質粘土層は確認されなかったが、No22ではTP-4m付近で確認している。
- ・南東部のNo31は、No22と同じくらいのレベルで硬質粘土層を確認している。→北西（No17付近）から南東（No29・30付近）にかけて、谷が入る？
- ・木片塊の検出レベルが深い（TP-3m以深）ことから、構造物とは考えにくい。



【凡例】

- | | | |
|------------------------|--------------------|----------------------|
| (1a) ローム土主体の埋立土 | (4) 黒褐色シルト層（貝片混じる） | (7') オリーブ灰色粘土ブロック |
| (1b) オリーブ色粘土ブロック主体の埋立土 | (5) 灰色シルト層 | (8) 暗灰色粘土層（軟質） |
| (1c) 暗灰色シルト | (5') 灰色粘土層 | (9) 灰色粘土層（硬質粘土層＝基盤層） |
| (2) 暗褐色土（有機質含む） | (6) 黒褐色土（有機質多い） | (10) 黒色粘土層（泥炭に似る） |
| (3) 暗灰色粘質土（泥土） | (7) オリーブ灰色シルト層 | |

No.17



No.18



No.19



No.20



No.21



No.22



No.23



No.24



No.25



No.26



No.27



No.28



No.29



No.30



No.31

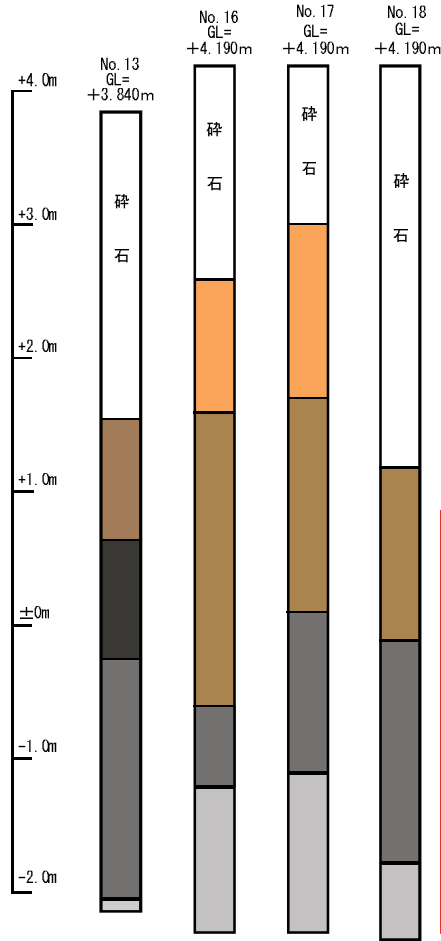
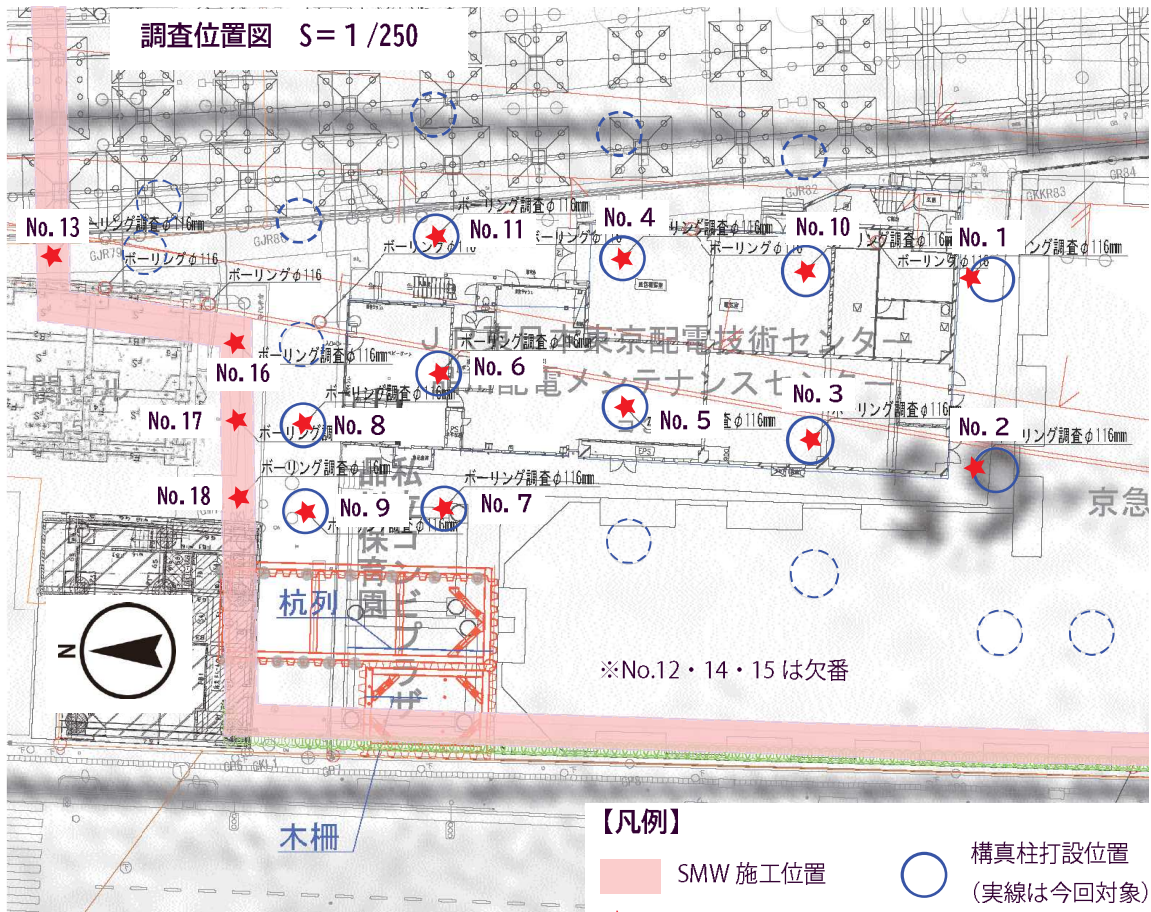


北棟建築工事にかかるボーリング調査

第44回高輪築堤調査・保存等検討委員会（2024年6月5日開催）資料再掲

【SMW部 ※No13・16～18】

【資料1-2】



- 【凡例】
- 黄褐色ブロック土（埋立土）
 - 茶褐色ブロック土+灰色ブロック土（埋立土）
 - 黒色土（一度攪拌されている?）
 - 暗灰色粘土（泥土）
 - 硬質粘土
- ※柱状図のスケールは1/40、数字は標高値（TP）を示す

- 【調査所見】
- 黄褐色ブロック土は、他のボーリング地点等でも確認されており、一帯を埋立てた時の埋立土である。
 - 茶褐色ブロック土と灰色ブロック土の混入土と、黒色土は、一度人為的な手加えられて形成された層であると考えている。（浚渫等による攪拌?）
 - 硬質粘土層の検出高は TP-1.0m以下であり、特に No13 は他のボーリング地点に比べると低い、その原因は不明である。（浚渫により窪んだものか? 遺構か?）

No.13



No.16



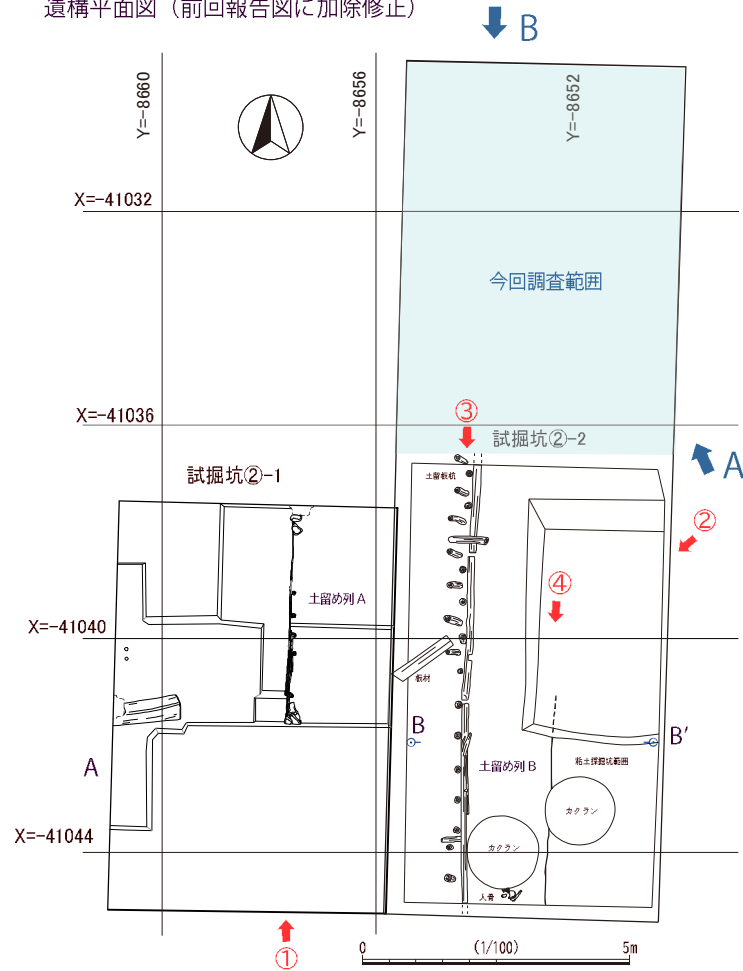
No.17



No.18



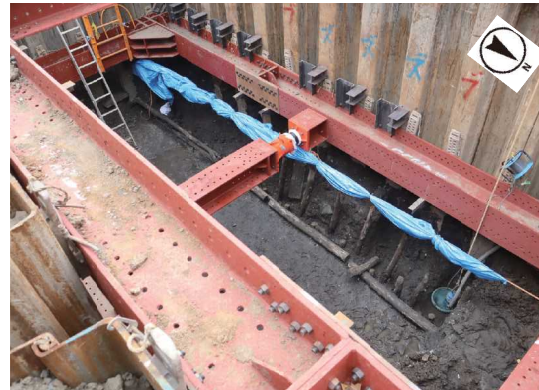
遺構平面図（前回報告図に加除修正）



【参考】泉岳寺改良事業（東京都交通局）に伴う調査



①土留め列 A 検出状況（南から）2023.9.27



②土留め列 B 検出状況（北東から）2023.12.27



③土留め列 B 検出状況（北から）2023.12.25



④粘土採取坑検出状況（北から）2024.1.10

【今回調査範囲】

